

夫婦間別居合意書

夫 ○○ □□(以下「甲」という)と妻 ○○ △△(以下「乙」という)とは、本日、甲乙間において、以下のとおり合意し、本契約を締結した。

第1条 (別居の合意)

甲と乙は、当分の間別居することに合意し、乙は、令和●年●月●日までに、実父母の住む居宅(●●県○●市●●町●丁目●番●号▲▲方)に転居する。

第2条 (監護者の定め)

甲と乙は、甲乙間の未成年の子である○○ ★★(平成●年●月●日生れ。以下「丙」という)の別居期間中の親権者を乙と定め、乙が監護養育を行なうものとする。

第3条 (婚姻費用分担の定め)

甲は、乙に対し、別居が開始した日の属する月より、将来同居又は離婚するに至るまで、婚姻費用として、毎月8万円宛を、毎月末日限り、乙の指定する下記金融機関の口座へ、振込送金の方法により支払う。

金融機関名: ●●●●銀行
支店名: ●●●●支店
預金種別: 普通預金
口座番号: ■■■■■■
口座名義: ○○ △△

- 2 上記婚姻費用は、物価の変動その他事情の変更に応じて、甲乙協議のうえ増減できるものとする。
また、丙の進学費用その他の教育費、及び事故又は病気などの特別な費用については、甲乙が協議の上、別途甲が乙に対し、その必要費用を支払うものとする。

第4条 (面会交流権)

甲は乙に対し、甲が毎月1回及び年2回(夏休みと冬休み)、丙と面会交流をすることを認容する。
ただし、面会交流の日時、場所、方法等の必要な事項は、丙の福祉を害すること

がないように甲乙互いに配慮し協議決定する。

第5条（夫婦間の努力義務）

甲と乙は、夫婦間の問題に関し、修復を図れるよう尽力するものとし、直接間接を問わず、相互に相手方を誹謗中傷しないことを約束する。

また、本契約書に定める他、問題が生じた場合には、協議によってこれを定めるものとする。

本合意の成立を証するため本書2通を作成し、甲乙署名押印の上、各自1通宛を保管する。

令和 年 月 日

甲 住所

氏名

乙 住所

氏名